

SX-ARK 実施機関を対象に、宇宙機の環境試験設備見学会を実施

— 非宇宙分野からの挑戦を、宇宙実証へつなげるために —



宇宙戦略基金における技術開発テーマ「SX 中核領域発展研究『SX-ARK』」では、将来の宇宙開発利用における分野横断的な課題の解決に向け、民間企業・大学等による挑戦的・萌芽的な技術開発や早期の実証を支援しています。特に、宇宙分野に限らず、地上で培われてきた多様な技術や知見を宇宙分野に展開していくことは、我が国の宇宙産業の裾野を広げるうえで重要な取組です。

このたび、SX-ARK に採択された実施機関を対象として、7月3日(金)、筑波宇宙センターにて、宇宙機の環境試験設備見学会を実施しました。本見学会は、これまで宇宙分野での経験が必ずしも多くない、いわゆる「非宇宙」分野の企業・大学・研究機関等の方々を主な対象に、今後、宇宙実証を目指す研究開発活動の具体的なイメージを持っていただくことを目的としたものです。



宇宙機は、打上げ時の振動・衝撃、宇宙空間における真空、温度変化、放射線など、地上とは大きく異なる厳しい環境にさらされます。このため、宇宙実証を実現するためには、単に部品や装置を開発するだけでなく、宇宙環境を想定した試験・評価を通じて、信頼性や成立性を確認していくことが不可欠です。

当日は、環境試験設備の役割や、宇宙機開発における試験の位置づけについて説明を受けた後、実際の試験設備を見学しました。参加者は、宇宙機に求められる品質保証、試験計画の考え方、試験設備の利用にあたっての留意点等について理解を深めるとともに、各々の技術開発課題を、今後どのように宇宙実証へつなげていくかを具体的に考える機会となりました。



今回の見学会は、非宇宙分野の技術シーズを実際の宇宙実証へつなげていくための第一歩となるものです。参加者からは、環境試験の具体的な進め方や、宇宙実証に向けた準備事項等について質問が寄せられ、宇宙分野への技術展開に対する高い関心がうかがえました。

宇宙戦略基金 SX-ARK では、今後も、実施機関による技術開発の進展を支援するとともに、宇宙分野内外の知見が交わる機会を創出していきます。非宇宙分野の優れた技術や人材が宇宙に挑戦しやすい環境を整えることで、新たなプレイヤーの参入を促し、日本の宇宙産業エコシステムの拡大と競争力強化につなげてまいります。

なお、宇宙戦略基金第三期では、SX-ARK の取組にも連なる分野共通テーマとして、「構造と材料」及び「環境と生存」を対象領域とする公募「SX 基盤領域発展研究」が予定されています。ご関心のある方は、今後公開される公募情報をご確認いただき、SX-ARK の新たなプレイヤーとしての参画をご検討ください。

[【参考情報】宇宙戦略基金第三期 SX-CRANE/ARK 公募開始に関するご案内](#)